# ひらかた文化財だより

発行
枚方市 観光にぎわい部 文化財課
〒573-8666
大阪府枚方市大垣内町２丁目１番 20 号
電　話：072(841)1411
ファクス：072(841)1278

## 変化する資料館活動
## ～コロナ禍とオバケちょうちんづくり～

令和５年７月 28 日（金）から 30 日（日）にかけて、旧田中家鋳物民俗資料館の体験工房で、小学生を対象としたワークショップ「オバケちょうちんづくり」を開催しました。期間中の３日間に毎日３回、計９回実施し 91 人の小学生が参加してくれました。

### オバケちょうちんとは？

オバケちょうちんは、張り子の要領でつくった直径 15 ㎝ほどの火袋に、ボール紙でつくった上部の輪と下部の受け皿を接着し、針金のつるをつけたものです。本物のちょうちんのように火袋をたたむことはできませんが、形を模したミニチュアです。張り子の火袋と、ボール紙製の輪と受け皿は、資料館スタッフがあらかじめ作成し、当日の参加者は、火袋に自由におばけの絵付けをし、輪と受け皿を火袋に接着、針金を曲げてつるをつくって輪に取り付けて完成させます。

ワークショップにあたっては、実物のちょうちんを示しながら、構造と折りたたみができること、灯火具としての使い方、ちょうちんを必要とした夜道についてなど、昔の道具とくらしについて簡単なレクチャーを行ってから、自由にオバケちょうちんづくりに取り組んでもらいました。立体の絵付けと組み立て、針金細工は小学校低学年の子どもたちには新鮮な体験でありながら、作業自体の難易度はさほど高くなく、誰もが 60 ～ 90 分間で完成させることができました。おわりに全員の作品を掲載していますのでご覧ください。

ちょうちんのレクチャー

「オバケちょうちんづくり」ポスター

### コロナ禍の資料館への影響

令和２年３月から令和３年６月にかけて、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、当館は断続的に臨時休館をしました。この間の開館時においても、行事の定員をこれまでの半数に制限していました。

コロナ禍以前にも、夏休みの小学生を主な対象としたワークショップは実施していました。滑石の勾玉づくり、竹細工（かご・風ぐるま）、機織り（しおり・コースター）のいずれかを３日間の期間中の好きな時に来て体験してもらえるというもので、会場の体験工房に入りきれなくなるほどのたくさんの参加者がありました。滞在時間は、短いものでしおりづくりを１時間、長いものでは竹かごづくりを３時間と想定していましたが、実際はつくる人によりけりで、半分程度の時間で完成する人、倍近い時間をかけてようや

自由にオバケを描く

くできた人もありました。担当の学芸員は、時間がかかっても納得するまで体験してもらえば良いと思っていましたし、ワークショップの内容も、時間がかかっても枚方の歴史に基づいた本格的なものが体験できる機会にしたいと考えていました。

ところが、コロナ禍で感染防止に配慮が求められ、これまでのようなイベントのやり方ができなくなってしまいました。そこで、枚方の歴史にこだわらず、日本の昔のくらしに関係する、短時間でできるワークショップを検討し、令和２年には張り子の絵付け、３年には郷土玩具のズボンボづくり、そして４年・５年にオバケちょうちんづくりを実施しました。幸い、オバケちょうちんは好評を得ることができましたが、必要に迫られて、つくりだしたワークショップだったのです。

## これからの資料館活動

はからずも、コロナ禍は資料館行事のあり方を考える機会になりました。文化や歴史を学ぶために、本格的な内容でしっかりと時間をかけたワークショップはもちろん大切ですが、反対に、簡略な内容で時間も短く文化や歴史に触れる機会づくりもまた意義のあることだと感じました。“時短”が好まれる昨今の風潮にも合致していると言えるでしょう。しかし、風潮や人々の好みは変化するものですし、不測の事態によって、また活動の制限や転換を余儀なくされるかもしれません。

旧田中家鋳物民俗資料館は､「鋳物」と「民俗」を伝える資料館です。これらを軸に、市民ニーズや時勢に合うよう、より柔軟な活動をしていきたいと思います。

## カラフル　ビューティフル　ワンダフル　オバケちょうちん全員集合！！！

## 枚方を訪れた皇族たち

枚方市内に天皇・親王の方々の来訪を記念して３つの記念碑が建てられたことをご存じでしょうか。

枚方町は昭和６年の秩父宮（雍仁親王（1902～53)、昭和天皇の弟）の滞在を記念して記念碑の建設と町誌の編さんを計画します。そして昭和 11 年、３つの記念碑を建設することを決めました。いずれも題字は第 23 代大日本帝国内閣総理大臣を務めた清浦奎吾（1850～1942)、撰文は歴史学者の魚澄惣五郎（1889～1959）です。

まず１つ目は、明治天皇御昼餐所の碑です。これは明治天皇（1852～1912）が慶応４年（1868）の大阪行幸の際、昼餐所となった枚方宿本陣があった元郡役所の内庭に建てられました。平成の三矢公園の整備に伴い同公園の一角に移設されました。

明治天皇御昼餐所の碑

２つ目は、閑院宮大演習御観戦所の碑です。「閑院宮」とは閑院宮載仁親王（1865～1945）を指します。この碑は大正７年（1918）12 月、閑院宮が万年寺山で陸軍大演習を観戦したことを記念して建てられました。昭和 11 年 11 月 19 日の『朝日新聞』には「意賀美神社社殿横」に建設したとありますが、現在は意賀美神社の梅林内にあります。

閑院宮大演習御観戦所の碑

３つ目は、秩父宮御滞在所の碑です。昭和６年（1931）６月、秩父宮が高槻工兵隊に入隊することになり、伊加賀の田中太介（1876～1963）の別邸万里荘が宿舎に決まりました。秩父宮は万里荘におよそ１ヵ月間滞在し、高槻の工兵隊に通うかたわら、夫妻で継体天皇陵や石清水八幡宮などに参拝したり、北河内郡内の児童・青年団の作品展を観覧したりしました。前述の『朝日新聞』には「枚方小学校奉安殿の横」に建設したと記されています。

枚方小学校を訪問する秩父宮

イベント開催予定

## お知らせ

| イベント名 | | 開催日 |
|---|---|---|
| 輝きプラザきらら展示ルームで開催しています | | |
| ① | 文化財展示会<br>「ひらかたの発掘・いまむかし」<br>※9/15（金)～後期展示を開催 | R6/2/26（月）まで |
| 中央図書館で開催します | | |
| ② | 古文書中級講座（全５回）<br>（申込は終了しています） | 10/2·16·30、<br>11/13·27（月） |
| 旧田中家鋳物民俗資料館・クボタ枚方製造所で開催します | | |
| ③ | くらわんか鋳物ツーリズム 2023<br>（第３回） | 11/23（木） |
| 枚方宿周辺で開催します | | |
| ④ | 第３回　枚方宿まちかど歴史展示<br>※出土遺物等を展示（岡本町会館） | 12/1（金)～12/17（日）<br>12/10（日）のみ |
| 旧田中家鋳物民俗資料館で開催します | | |
| ⑤ | カマドでご飯を炊こう！ | 10/21（土） |
| ⑥ | 鋳造講座<br>「青銅の表札とランプシェード」 | 11/4·11·18·25、<br>12/2·9（土） |

**◆旧田中家鋳物民俗資料館 11/24（金）**
**「竹かご講習会」**

枚方で竹かごをつくっていたのをごぞんじですか。山之上地域では江戸時代末期から台所用や農作業用のかご類をつくっていました。戦後のプラスチック製品等の普及により衰退し、なくなってしまいましたが、約 100 年にわたり、地域の産業として人々の暮らしを支えていました。そんな竹かごづくりにチャレンジしてみませんか。直径 15 ㎝ほどの、四海波花（しかいなみはな）かごをつくります。

## 事業報告

**◆旧田中家鋳物民俗資料館　7/16（日）　19 人**
**「カマドでご飯を炊こう！」**

このイベントは、江戸時代の建物の中でカマドを使ってご飯を炊き、昔の暮らしを体験するものです。

コロナ禍のため４年ぶりの開催となりました。

当日は気温 36 度を記録する日でしたが、大人から子どもまで火吹き竹を使ってカマドの火を大きくしたり、羽釜の湯気や吹きこぼれなどからご飯が炊けていく様子を観察したり、また、学芸員から、畳敷きの部屋で昔の暮らしの話を聞いたりと、今とは全く違う昔の生活を満喫しました。炊きたてのご飯 17 合は、ほぼ完食。「おいしい！」という声と笑顔があふれました。

次回は 10 月 21 日（土）開催の予定です。

**◆旧田中家鋳物民俗資料館体験工房　8/5（土）　６人**
**ジュニア文化財学級「古墳のハテナ」**

小・中学生に古墳時代がどのような時代であったのか知ってもらうために開催しました。

最初に職員が古墳時代について話しました。会場に３枚の布をカーテン状に吊り下げ、話の流れに沿って遺物や写真などが隙間から現れるという工夫をしました。参加者はいつ何が現れるのか興味津々で、話に耳を傾けながらも視線は布に釘付けでした。

その後、市内の遺跡から出土した遺物に実際に触れてもらい、手触りや重さなどを実感してもらいました。

最後のワークショップでは、滑石を削って勾玉をつくりました。参加者は完成品に紐を通して首にかけたり、手のひらにのせ、指でなでたりしてとても楽しんでいました。

### 編集後記

8 月 23 日、夏の甲子園で横浜市の慶応高校が 107 年ぶりに優勝した。同日、藤井聡太王位が挑戦者の佐々木大地七段に勝ち 4 連覇を達成、将棋界 8 大タイトルのうち 7 冠を堅持した。藤井 7 冠が前人未到の全 8 冠制覇を目指し、永瀬拓矢王座に挑戦する第 71 期王座戦（五番勝負）が 8 月 31 日に開幕した。永瀬王座は慶応高校と同じ横浜市出身で何か因縁めいたものを感じる。第 1 局は永瀬王座が勝ち、５連覇・永世称号「名誉王座」に向け好発進した。9 月 12 日に神戸市で行われた第 2 局は藤井 7 冠が勝利し星を五分に戻した。第 3 局（9 月 27 日）は藤井 7 冠のお膝元名古屋市で行われるが、両者いずれが勝つにせよ 10 月 11 日に京都市で行われる第 4 局は、まさに天王山というべき注目の一戦である。